

廃カセットガス缶・エアゾール缶処理装置

缶碎名人 Jr



不活性ガスで
安全処理!!



処理前



処理後



■概要■

カセットコンロ用のカセットガス缶や殺虫剤、化粧品等のエアゾール缶はその利便性から広く普及しています。しかし、完全に使い切らずに廃棄されることが多く、破碎処理工程での爆発事故、火災発生例が増加しています。また、一般家庭での穴あけの段階での爆発事故も増加して大きな問題となっております。

本処理設備は、設備内に不活性ガス（窒素）を注入し無酸素雰囲気下で缶に穴を開けるため、爆発、火災の発生を防止する装置です。

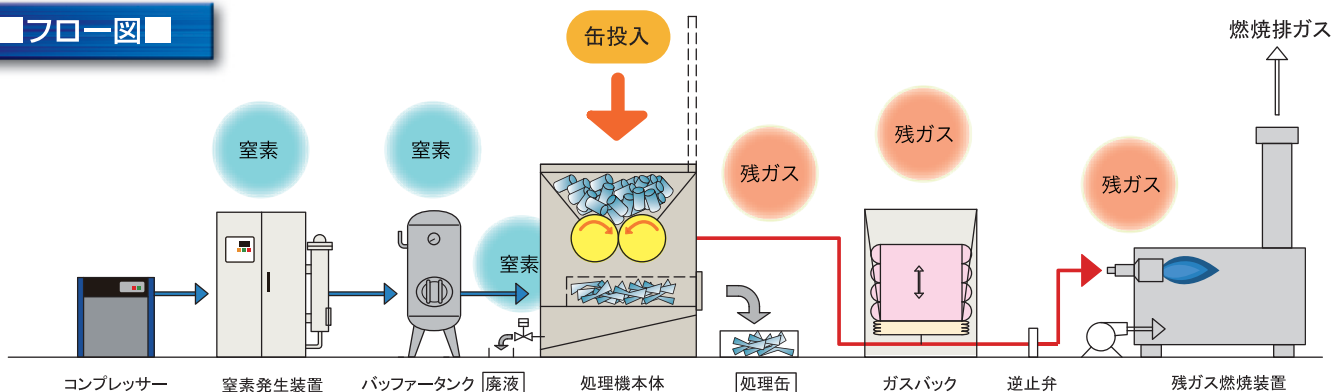
穴あけに伴い発生するLPガスや可燃性のエアゾール缶残液を効率よく分離し、ガスは燃焼処理、残液は回収することにより、安心、安全かつ適正な処理が可能な装置です。

■特長■

1. 残留する可燃ガスを不活性ガス（窒素ガス）を用いて、安全に処理できます。
2. 缶のサイズや厚み、形状を問わず、約 150~200 缶 / バッチ（約 15 分間）と大量に処理できます。
3. 処理した缶は、既存の選別機、プレス機等で成形、リサイクルが可能です。
4. すべての処理工程が自動化され、作業環境の悪化を招かないクローズドシステムです。

FUJICAR
MFG.CO.,LTD

■フロー図■



●コンプレッサ



●窒素発生装置



●バッファータンク



●ガスバック



●残ガス燃焼装置



■仕様■

処理能力	約600~800缶/hr(150~200缶/バッチ、処理時間約15分/バッチ)	
処理雰囲気	酸素濃度10%以下雰囲気(燃焼・爆発が起こらない条件下)	
構成機器寸法	缶処理装置本体	約 W1,340 × D1,650 × H2,654 (mm)
	窒素発生装置	約 W1,660 × D700 × H2,000 (mm)
	空気コンプレッサ	約 W995 × D670 × H1,800 (mm)
	バッファータンク	約 φ1,200 × H2,560 (mm)
	ガスバック	約 W1,100 × D1,100 × H2,100 (mm)
	残ガス燃焼装置	約 W3,500 × D910 × H6500 (mm)

富士車輛株式会社



- 本社/工場 〒524-0034 滋賀県守山市千代町13番地1
TEL 077-583-1235(代) FAX 077-582-8805
- 東京支店 〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目1-11 第3小池ビル2F
TEL 03-6402-4184 FAX 03-6402-4185
- 大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目14-10 中尾ロイヤルビル8F
TEL 06-6394-4100 FAX 06-6394-4102
- 東京営業所 〒125-0041 東京都葛飾区東金町7-21-14
TEL 03-3607-3196 FAX 03-3627-6624
- 名古屋営業所 〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字母呂後89
TEL 052-621-9119 FAX 052-622-8901
- 福岡営業所 〒812-0064 福岡市東区松田3-7-30
TEL 092-622-1758 FAX 092-622-1415

【お問合せ先】